



令和 7 年 1 月 9 日

1 月 1 5 日から 2 1 日は「防災とボランティア週間」です ～ 本所防災館で消火・人命救助を学べるイベントを開催 ～

今年は阪神・淡路大震災から 3 0 年の節目の年です。

「防災とボランティア週間」は、阪神・淡路大震災を契機に創設され、災害時におけるボランティア活動や自主的な防災活動についての認識を深めるとともに、災害への備えの充実強化を図ることを目的としています。

本週間をとらえ、地域住民を主体とした自助・共助の精神に基づく地域防災力の向上を目的とした取組を推進します。

また、能登半島地震においても多数の住宅が倒壊し、さらに大規模な火災も発生しています。今回本所防災館で、より実践的な初期消火や救助の方法を受講した上で認定証を交付する講習をはじめて開催します。

1 実施期間

令和 7 年 1 月 1 5 日（水）から同年 1 月 2 1 日（火）まで
防災とボランティアの日 令和 7 年 1 月 1 7 日（金）

2 推進項目

- (1) 地域の実情に応じた各種施策の効果的な推進
- (2) 災害時支援ボランティアの指導育成の推進
- (3) 災害時支援ボランティアの募集広報の推進

3 関連行事

- (1) 第 2 1 回地域の防火防災功労賞表彰式（別紙 1 のとおり）
- (2) 都内に 3 館（池袋・本所・立川）ある防災館で動画や写真で阪神・淡路大震災を振り返る特別展示を実施
- (3) 本所防災館で消火・人命救助を学べるイベント（消火・人命救助講習）を開催（別紙 2 のとおり）

4 東京消防庁災害時支援ボランティアについて

令和 7 年度に発足 3 0 年を迎える東京消防庁災害時支援ボランティア（以下

「災害時支援ボランティア」という。)は、震災時等に、あらかじめ登録している消防署等に参加し、消防署の支援を行う専門のボランティアです。また、平常時は地域の防火防災訓練等に参加し、都民指導を実施するなど、地域防災力の向上に寄与しています。

登録要件は、原則として、東京消防庁管轄区域内に居住、勤務又は通学している15歳以上(中学生を除く。)の方で、応急救護に関する知識等を保有している方が登録の要件となっており、令和6年12月末現在では、約3,200名の登録者がいます。

東京消防庁では災害時支援ボランティアを募集しています。

東京消防庁災害時支援ボランティア募集ページ

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/ts/others/sien/index.html>



問合せ先

東京消防庁（代表）	03-3212-2111
防災安全課防災安全係	内線 4208、4228
広報課報道係	内線 2346～2350

第 2 1 回地域の防火防災功労賞表彰式について

概 要

「地域の防火防災功労賞」は、阪神・淡路大震災から 1 0 年の節目にあたる平成 1 6 年 6 月に、地域防災力の向上を図ることを目的として創設されました。町会・自治会、事業所等の防火防災に関する取組について募集し、表彰することで広く都民に紹介するものです。

今年も地震、風水害等の自然災害に関する町会・自治会等が主体となった地域の取組や、地域が実施する住宅防火に関する取組など、6 5 事例の応募があり、令和 6 年 9 月 6 日（金）に開催された第 2 1 回地域の防火防災功労賞選考委員会において各賞が決定いたしました。

1 実施日時（表彰式・写真撮影）

令和 7 年 1 月 1 5 日（水） 1 3 時 3 0 分から 1 5 時 0 0 分まで

（表彰式： 1 3 時 3 0 分から 1 4 時 0 0 分）

2 実施場所

東京消防庁スクワール麹町 3 階（東京都千代田区麹町六丁目 6 番地）

3 受賞団体

(1) 最優秀賞受賞団体（3 団体）

三菱地所株式会社（丸の内）、船橋会（成城）、専門学校トヨタ東京自動車大学校（八王子）

(2) 優秀賞受賞団体（4 団体）

ザ・リバープレイス自治会（矢口）、市谷台町町会（牛込）、一般社団法人みたか S C サポートネット（三鷹）、コミュニティ協議会「まちづくり昭島北」（昭島）

(3) 選考委員長特別賞受賞団体（2 団体）

法政大学 チーム・オレンジ（麹町）、桜堤中地区青少年育成委員会（向島）

4 列席者

消防総監、防災部長、参事兼防災安全課長、関係各署長等

5 取組事例について

最優秀賞（消防総監賞） 3 団体の取組内容は別添え 1 のとおりです。

6 その他

- (1) 取材を希望される社は、令和 7 年 1 月 1 4 日（火） 1 2 時 0 0 分までに広報課

報道係までご連絡ください。

- (2) 当日は、建物 1 階出入口付近にて 1 2 時 3 0 分から受付を行います。(別添え 2 参照) 受付終了後、順次会場の撮影位置にご案内いたします。
- (3) 取材予定全社を会場へご案内後、レクチャーを実施します。
- (4) 取材の際は、自社腕章を着用してください。
- (5) 駐車場の準備はありません。近隣のコインパーキング等をご利用ください。

最優秀賞（消防総監賞）事例概要

所属	団体名	事例名	活動概要
丸の内	三菱地所株式会社	エリアとしての震災対策への取り組み	あらゆる危機管理における基本方針・行動指針に加え、緊急事態発生時の行動内容等を定めた「緊急事態対応マニュアル」を策定しており、大規模災害発生時には、災害対策本部を立ち上げ、行政、ゼネコン・サブコン、千代田区医師会や聖路加メディローカスと連携し、帰宅困難者対応や負傷者対応、建物応急危険度判定を実施している。 また、丸の内エリアの15棟で千代田区と帰宅困難者等一時受入施設の協定、医療機関と医療連携の協定などを締結している。 
成城	船橋会	共助の輪をつなげ！～地域一丸で磨く地域防災力～	町会、商店街、学校や近隣の各事業所等が連携した防災訓練やイベントを実施することで、様々な団体間のつながり＝「絆」が強固なものとなり、地域一丸となって「安全・安心な街」を実現している。 町会独自のHPとYouTube アカウントを持っており、若い世代から地域の防災活動に興味を持ってもらえるようHPにスタンドパイプ操作のYouTube 動画をアップしたり、町会の取組をYouTube で見れるよう工夫している。 
八王子	専門学校トヨタ東京自動車大学校	学校の特性を活かした地域防災への取り組み	車両・工具・部材等の機械力を多数有している。その機械力を活かすマンパワーとして昼間の間は多数の学生がおり、夜間は学生寮に一定の学生が寄宿しているため、24時間地域防災に貢献している。 過去の台風の被害に際して、地域のボランティアとして復旧活動をするなど、実際の災害に対して活動している実績もある。 

第 2 1 回地域の防火防災功労賞表彰式会場図



本所防災館で消火・人命救助を学べるイベントを開催

概 要

首都直下地震等の発生が危惧される中、阪神・淡路大震災からの教訓を踏まえ、地震の知識や初期消火及び救出救助の技術を学び、地域防災力向上を図ることを目的として本所防災館でより実践的に消火・人命救助を学べるイベント（消火・人命救助講習）をはじめて開催します。

これまでの防災館での体験にはなかった、参加者全員がスタンドパイプを活用した初期消火やジャッキ等を活用した人命救助の実技を体験できる講習で、講習を修了した方へは認定証を交付いたします。防災館で共助について学びたい方、より実践的に学びたい方の満足度に寄与する講習となっています。

1 実施日時

令和7年1月19日（日）

1回目：10時00分から12時30分まで（受付時間：9時30分から）

2回目：13時50分から16時20分まで（受付時間：13時20分から）

2 実施場所

本所防災館（東京都墨田区横川四丁目6番6号）

3 参加者

- (1) 日本防災士会東京都支部
- (2) 墨田区内町会・自治会、自主防災組織等

4 実施内容

- (1) テキストによる講義
- (2) 消火技能訓練（消火器の使用方法及びスタンドパイプの設定、ホース延長、放水）
- (3) 救出救助技能訓練（油圧ジャッキ及び単管パイプを活用した救出）
- (4) 講習終了後、認定証を交付

5 今後の予定

- (1) 令和7年5月24日（土）
- (2) 令和7年7月12日（土）

※1 墨田区の町会・自治会や自主防災組織の方々を中心に募集しています。

※2 以降の開催は、これまでの参加者のアンケートなどを踏まえ検討していきます。一般公募も行う予定です。詳細が決まり次第、東京消防庁ホームページ等でお知らせします。（※本所消防署及び本所防災館へのお問合せはご遠慮ください）

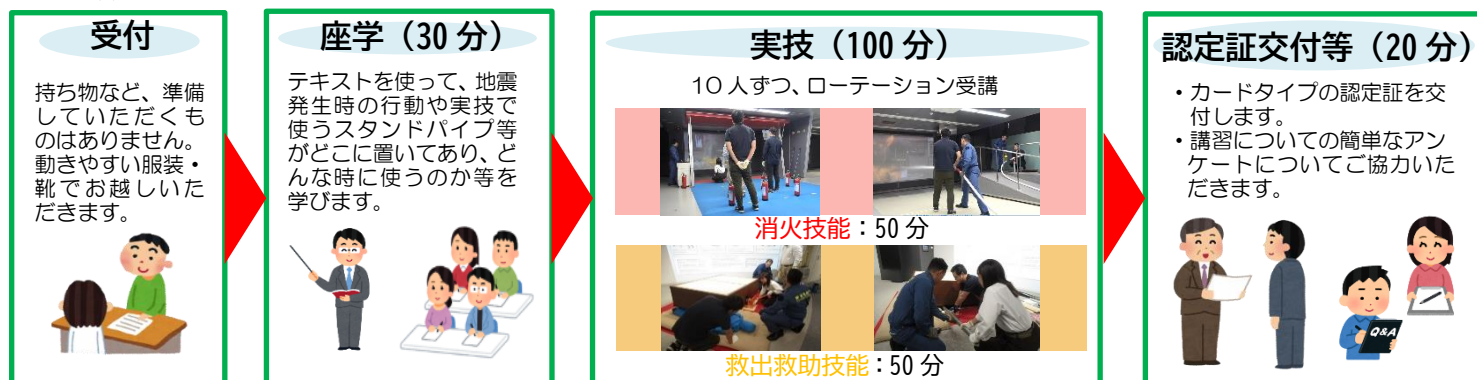
6 その他

- (1) 取材を希望される社は、令和7年1月17日(金)12時00分までに広報課報道係までご連絡ください。
- (2) 当日は、建物1階出入口付近にて12時30分から受付を行います。（別添え3参照）受付終了後、順次会場の撮影位置にご案内いたします。
- (3) 取材予定全社を会場へご案内後、レクチャーを実施します。
- (4) 取材の際は、自社腕章を着用してください。
- (5) 駐車場の準備はありません。近隣のコインパーキング等をご利用ください。
- (6) 本所消防署、本所防災館へのお問合せはご遠慮ください。

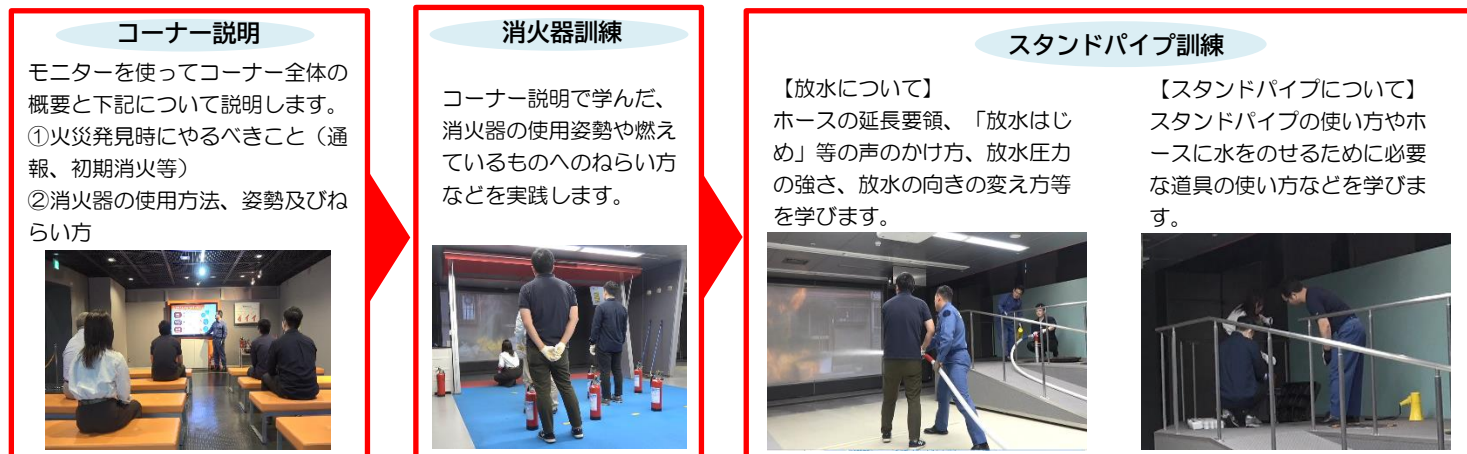
消火・人命救助講習について

本講習のポイントは、代表者の方だけでなく、参加者全員が実際に身体を動かして体験できるところにあります。阪神・淡路大震災での教訓を踏まえ、初期消火及び家具等に挟まれてしまった方の救助方法について学びます。これまでの体験ツアーと異なり、講習を修了した方へは認定証を交付いたします。

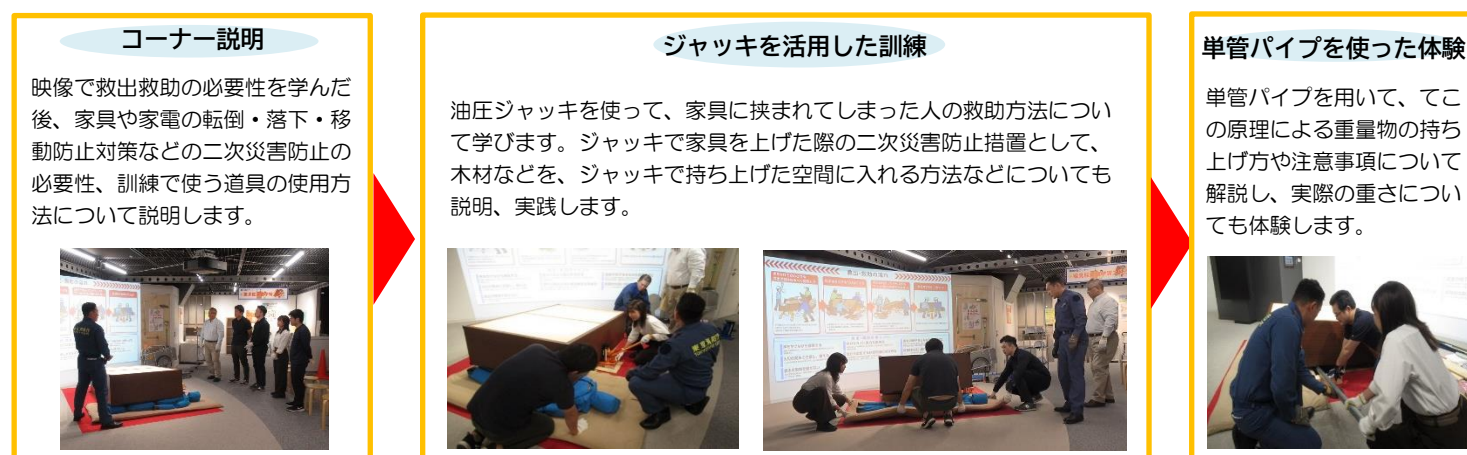
1. 全体の流れ（1回20名（150分）、1日40名（午前1回、午後1回））



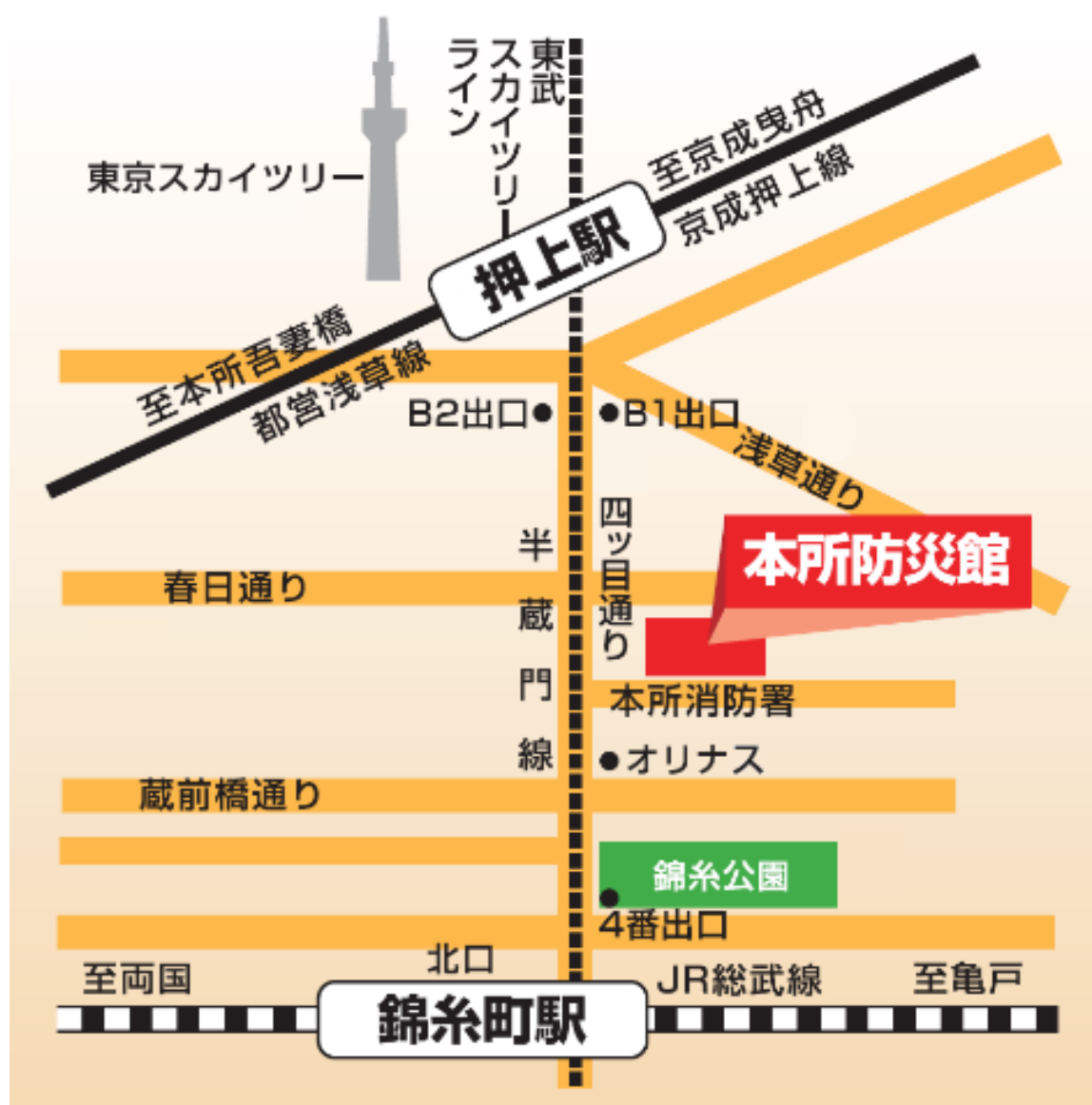
2. 消火技能



3. 救出救助技能



「消火・人命救助講習」実施場所



電車：JR 総武線・東京メトロ半蔵門線「錦糸町駅」から徒歩 10 分
京成押上線・都営浅草線・東武スカイツリーライン・東京メトロ半蔵門線
「押上駅」から徒歩 10 分
お車：駐車場（車高 2.0m以下）あり
（ただし台数に限りがあります。）